



子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）

平成27年度補正予算額
1,298百万円

背景・目的

環境中の化学物質が子どもの健康に与える影響が解明されおらず、子育てへの不安が広がっている。その解明のため、大規模な疫学調査が必要。

本調査は、国際的に大きく注目されており、平成21年のG8環境大臣会合において日本から大規模疫学調査の実施を提案したこともあり、我が国のリーダーシップが期待されている。また、平成28年5月にはG7環境大臣会合の開催が予定されている。このため、重金属等の分析を加速化し、子どもの健康と環境の問題の解決に向けたアウトプットを得る。

事業スキーム



事業概要

エコチル調査とは、胎児期から小児期にかけての化学物質曝露が子どもの健康に与える影響を解明するための、長期的・大規模な追跡調査。

参加者から採取した生体試料に含まれる化学物質のうち血中重金属及び尿中コチニンの分析・解析を加速化する。

期待される効果

化学物質分析の加速化により、早期の成果公表を可能とさせ、もって環境中の化学物質が子どもの健康に影響を与える環境要因の解明を加速させる。それにより、適切なリスク管理体制を構築し、安心・安全な子育て環境の早期実現と少子化対策への貢献に繋げる。

事業目的・概要等

